

ぶどうの木



発行人 牧師 広田叔弘
企画編集 広報委員会
www.church.ne.jp/umegaoka/
2025年 5月25日発行

〒155-0033
東京都世田谷区代田 3-37-7
TEL : 03-3414-5772
FAX : 03-3414-5778

第263号 2025年 6月号



『広がる恵み』

牧師 広田叔弘

イエスはお答えになった。「第一の掟は、これである。『イスラエルよ、聞け、わたしたちの神である主は、唯一の主である。心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』第二の掟は、これである。『隣人を自分のように愛しなさい。』この二つにまさる掟はほかにない。」

マルコによる福音書 12章29、31節

六月の教会の予定。一日、恵泉・中高オーケストラの奉仕。八日、ペンテコステ礼拝と祝会。十五日、CSスイーツパイキング。二十二日、砧教会と交換講壇。以上のとおり密なスケジュールになりました。それぞれの計画は、早ければ一年前、遅くとも半年前には発案されて準備が始まっています。

「こなす」と言う言葉があります。「処理する」「片づける」「消化する」といった意味です。教会の事業をこなしたくはありませぬ。丁寧の一つ一つの中身を作っていきたいです。その目的は、福音の恵みが広がるためです。キリスト教学校である恵泉の教育に協力したいと思えます。生徒たちの努力を応援したい。彼らが教会の様子を知り、関心をもつて訪ねてくれたらとても嬉しいです。福音

の恵みが広がるとはこのようなことでしょうか。

計画の準備は簡単ではありません。人手と時間とハートが必要です。祝会を考えてみましょう。お弁当を注文します。求められるのは、安全なもの、誰でも食べられるもの、手ごろな価格、そして美味しいもの。参加人数を把握して、少し多い数を発注します。礼拝前に受け取って、別に用意したお菓子やくだものと一緒に袋へ詰める。一つの例です。教会で行う事業は、心が籠っていないと生きません。恵みの幸いが広がっていかないので。私は「綱」を思い浮かべます。太い綱をほぐしていけば、最後は一本の繊維になるのでしよう。太い綱は、細い繊維の集まりです。糸はたやすく切ることが出来ず。しかし、数えきれない繊維が燃り合わさって出来た綱は、容易に切ることが出来ません。教会の営みも同じです。

出来るどころ、出来ないところの違いがあります。皆で力を合わせて出来るところをさげましょう。一つの計画に対して一人一人が関心を持ちます。そして祈るのです。その計画は生きたものになります。手間暇のかかる準備が楽しいものになるのです。

神を愛し、隣人を愛すること。それは心を合わせて祈り、出来る努力をささげることでしょう。ここに主が働いてくださいます。私たち皆が、広がる恵みを見ることとなります。